

## 2021 年度新入生オリエンテーション 口腔保健学科プログラムについて

本年度は、コロナ禍の中、各学科で時間を分けるなどの措置を取り、密にならないようにすることを前提として、新入生オリエンテーションを実施することができました。その中から口腔保健学科の学科プログラムについて、内容や新入生たちの様子をご紹介します。

学科プログラムは卒業生より学生生活と卒業後の歯科衛生士としての活躍についてご講演頂き、新入生がより歯科衛生士を身近に感じてもらえるように、また将来のイメージを早期に持つことができるように働きかけることを目的として行いました。ご講演頂いた卒業生は、一般歯科診療所・企業・病院・矯正専門歯科診療所に勤務する 4 名の歯科衛生士の皆さんです。



今回のご講演では、それぞれの勤務先でどのような仕事を行っているのか、学生時代の過ごし方のアドバイス等、実際の体験談を基にお話しして頂きました。歯科衛生士の働き方は多様化してきており、地域での患者様との長期間に渡る関わり、企業としての活動や勤務内容、病院内での多職種との連携や全身麻酔等を用いた歯科治療および専門的な治療現場での歯科衛生士のあり方など、それぞれの専門分野においてその専門性を発揮しながら日々の業務を行っておられることが非常に良く分かりました。



新入生たちは、歯科衛生士への憧れを抱いて本学の口腔保健学科に入学してきたことと思います。もうすでに明確な歯科衛生士像を持っている新入生もいれば、歯科衛生士になりたいけれど目標とする歯科衛生士像は持っていないという新入生もたくさんいます。それぞれの思いを持ち、緊張しながら入学してきた新入生にとって、今回のご講演はとても刺激的だったようで、皆真剣に講演内容を書き留めていました。その様子は本当にキラキラしていて、これからの歯科衛生士の活躍を確信できるほどの姿勢を見せてくれていました。

今回の卒業生のご講演は、私たち教員が聴講させて頂いてもとても興味深く、歯科衛生士の多様性を実感させてもらえるものでした。今後ますますの歯科衛生士の活躍の場が増えるよう、新入生がそれぞれの歯科衛生士像の実現に向けて 3 年間を楽しく充実した時間にしてもらえることを期待しています。